

ニュース・リリース

2009年7月9日

米財務省がアライアンス・バーンスタインを官民投資プログラムの運用会社を選定

【ニューヨーク】—アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピー及びアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは8日、米財務省がアライアンス・バーンスタイン*を不良証券化商品買い取りの官民投資プログラム(PPIP)の運用会社9社のうちの1社に選定したと発表しました。同社は他の8社とともに、同プログラムに応募した100社以上の運用機関の中から厳正な審査の末に選定されました。

アライアンス・バーンスタインは同プログラムの下、財務省と共同で、多数の金融機関が抱える不良資産化した住宅ローン担保証券(RMBS)や商業用不動産ローン担保証券(CMBS)を買い取る官民投資ファンド(PPIF)を創設します。財務省は民間投資家とともに投資家として参加し、PPIP ファンドにレバレッジを提供します。

アライアンス・バーンスタインにおいては、同社スペシャル・シチュエーション・チームの最高投資責任者を務め、モーゲージ市場において22年の経験を有するジェフリー・フレガーが指揮を執ります。

この資産クラスへの投資に必要とされる専門スキルをより強固にするため、アライアンス・バーンスタインはグリーンフィールド・パートナーズ、リアルト・キャピタル・マネジメント、アルトゥラ・キャピタル・グループの3社と戦略的パートナーシップを結びました。グリーンフィールドとリアルトはいずれも特化型の不動産投資会社で、ディストレスト不動産の分析、デュー・デリジェンス、価値評価において豊富な専門知識を提供します。これに加え、アルトゥラ・キャピタルは専門知識、詳細な市場情報、多様な新興運用会社への独自のアプローチで運用に貢献します。優良な投資案件の発掘能力をさらに高めるため、新興不動産会社や証券会社のネットワークへのアクセスも提供します。

*アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

アライアンス・バーンスタインについて

アライアンス・バーンスタインは、世界各国において、機関投資家や個人投資家、個人富裕層に対して、高品質の研究と広い範囲にわたる資産運用サービスを提供する世界有数の資産運用会社です。運用プロフェッショナル 500 名以上(2009 年 3 月 31 日現在)を擁し、様々な資産運用サービスを、子会社や合併事業を通じて世界 20 カ国以上の市場で提供しています。

2009 年 3 月 31 日現在、アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの株式持分の約 34.3%を保有しています。また、世界有数の金融サービス企業であるアクサのメンバーカンパニーであるアクサ・フィナンシャル・インクはアライアンス・バーンスタインの持分の約 64.3%を保有しています。



アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】社団法人投資信託協会／社団法人日本証券投資顧問業協会

●ご留意事項

アライアンス・バーンスタイン株式会社の運用戦略や商品は、値動きのある金融商品等を投資対象として運用を行いますので、運用ポートフォリオの運用実績は、組入れられた金融商品等の値動きの変化による影響を受けます。また、金融商品取引業者等と取引を行うため、その業務または財産の状況の変化による影響も受けます。資産の価値の減少を含むリスクはお客様に帰属します。したがって、元金および利回りのいずれも保証されているものではありません。運用口座や投資信託によって投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。また、ご投資に伴う運用報酬や申込み手数料、換金時手数料、保有期間中に間接的にご負担いただく費用、その他費用等及びその合計額も異なりますので、その金額をあらかじめ表示することができません。